

現状と課題を整理 を開催一

**技工報道の
内容を討議**

この間、歯科技工士は低賃金・長時間労働によって担い手が減少して

会議には、政策部から小澤力理事長、戸井逸美副理事長、米永哲朗理事、新聞部から斎賀史郎理事、「保険で良い歯科医療を求める大阪連絡会」から西川勝美歯科技工士が出席した。また、報道関係者からの申し出を了承し、1人がオブザーバとして参加した。

正確な情報発信 を求める

番組視聴後に意見交換し、問題点をあげた。番組では、歯科技工士減少の背景には技工業界の経

最近、歯科技工士不足などに関心が寄せられ新聞やTVで報道されている。歯科技工物の安定供給と継承の問題を、デジタル技術の進歩も視野に課題を整理しようと10月8日、拡大政策部会を開催した。会議では、府技工士会との懇談内容を参考にした。

り、入れ歯難民が生まれかねない問題になっていることが国民の関心事にもなっている。こうした状況を受け、マスコミなど各新聞社やテレビ局でも特集が組まれている。10月8日にはテレビ大阪「やさしいニュース」で歯科技工問題について放送があり、昨年協会が取り組んだ府内約1200歯科技工所へのアンケートについて小澤理事長が取材に対応、番組で取り上げられた。

営難、その原因として低い公定価格と材料費の高騰があるとし、取材を受けた歯科技工士は材料費の高騰が歯科技工所の経営を悪化させていると主張していた。

保険技工では材料費は歯科医院が負担しているため、そのようなことは自費技工でしか起こり得ない。番組は低い公定価格と不透明な価格決定も問題にしており、保険技工の話から入っていた。そのため、視聴者は「保険技工士の苦境」材料費高騰」と誤認しかねない。低診療報酬こそが問題の本質であり、こうした誤解を防ぐ正確な情報発信を求める必要性が確認された。

東部地区

口腔内スキャナで 実習講習会



インストラクターから説明を受ける受講者

大阪市東部地区は10月19日にCiメディカル新大阪ショールームで、口腔内スキャナを使用した実習講習会を開き、6人が参加した。Ciメディカルのスタッフによる機器の説明のあと、6台用意された口腔内スキャナを使い、パソコンを使ったデータの入力や顎模型を使用した実習を行った。ただスキャンデータを取るだけでなく、AIによる補綴物の自動設計や



Ciメディカルショールーム、大阪市

データを使用し歯科矯正のシミュレーションにも活用できるなどの解説なども行われた。参加者からは「機材の大きさや重さなどを実際に比較出来てよかった」「大きな買い物などで家族と相談したい」などの感想が出された。

第2回 社保講習会開く

算定要件のカルテ記載も解説

社保研究部

社保研究部は、10月18日 社保講習会を開催し50人が参加した。本講習会は、2024年診療報酬



改定での変更点を中心に、基礎の学習を目的に3回シリーズで開催。2回目は、処置・リハビリ、手術、歯周治療について「歯科保険診療の研究」をテキストに解説した。

手術では、手術の原則である同一手術野・同一病巣では主たる手術のみを算定することを教え、主たる手術と従たる手術が算定できる場合の例を確認した。また、移植手術にあったっての具体的な算

定やその他各手術の算定要件をおさえ解説した。歯周治療では、全症例について歯周精密検査が実施されている医院が過去に個別指導で指摘されたことを紹介し、それぞれの歯周病検査の要件を確認した。日本歯科医学会が示した「歯周病の治療に関する基本的な考え方」をもとに作成した歯周治療の基本的な流れについて、矢印が非常に重要な点とし、基本的な流れに沿って治療をすすめることを推奨した。

また、病名や主訴が重

要とし1号用紙やカルテ記載についても説明した。近藤正、玉川明弘、藤井佐都樹各社保研究部員が講師を務めた。

◇ ◇ ◇

第3回 社保講習会

11月1日(土) 午後6時〜8時「歯冠修復・ブリッジ、有床義歯、在宅医療」

早見表

12月版発行

10月17日の中医協で、歯科用貴金属価格の随時改定が決まり、保団連は『新点数早見表2025年12月版』を11月末に発行する。12月版はブリッジ保険適応一覧を含む12頁の冊子の体裁となる(関連1面)。

淀川花火大会 観覧を企画

協同組合からのレポート

協同組合は10月18日に恒例の「淀川花火大会観覧企画」を開催し、保険医協会の医科・歯科医師をはじめ、ご家族や医療機関スタッフなど総勢165名が参加しました。

毎年8月に開催される花火大会が、万博の影響で10月の開催でした。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者はカッパを着用しながら会場に集い、華やかな花火の



ひとときを楽しみました。

雨に映える 幻想の光

会場では、ホテルシェフによる豪華なビュッフェ形式の食事が用意され、ローストビーフや旬の魚料理、デザートなど多彩な料理が並んだ。参加者は美味しい料理を味わいながら歓談し、花火の打ち上げを心待ちにしました。夜空に花火が咲き誇ると歓声が上がリ、雨に霞む光が幻想的な光景を描きました。参加者からは「雨でも感動的だった」「料理も花火も満喫できた」との声が寄せられ、笑顔あふれる交流の場となりました。

第10回 日常診療経験交流会

主催：大阪府保険医協会・大阪府歯科保険医協会

口内・腸内細菌の意外なお仕事 ー健康長寿への道ー

日時 11月30日(日)
[開場 9:30] 10:00~16:10

参加無料

会場 グランキューブ大阪10F
(大阪府立国際会議場) 大阪市北区中之島5丁目3-51

●記念企画【13:15~】

※市民の方もご参加いただけます。

口から始まる健康寿命〜口内フローラ〜



うえの たかあき
植野 高章氏

大阪医科薬科大学口腔外科教授
1988年岡山大学歯学部卒業。岡山大学歯学部附属病院、米国ワシントン大学(シアトル) 歯学部留学などを経て、2011年より大阪医科薬科大学医学部口腔外科学教室教授。

ここまでわかってきた腸内細菌と健康の化学



いりえ じゅんいちろう
入江 潤一郎氏

関西医科大学糖尿病科診療教授
1996年慶応義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院、米国ピッツバーグ大学医学部研究員、北里研究所病院などを経て、2024年より関西医科大学第二内科診療教授。

申込受付中

下記2次元コードより
お申し込みください

